



豊かなオホーツクに
活気みなぎるまち

網走

ABASHIRI

[網走市勢要覧]



[企画・発行]

網走市企画総務部企画調整課

〒093-8555 北海道網走市南6条東4丁目

TEL (0152) 44-6111 FAX (0152) 43-5404

Eメール ABA-SITYOU@city.abashiri.hokkaido.jp

<http://www.city.abashiri.hokkaido.jp/>

[発行年月]

2017年4月

[制作]

株式会社 北海道アート社

[印刷]

株式会社 北研社

流氷が接岸する 世界最南端のまち、 網走。

地球上で、凍る海は約10%だという。
四方を海に囲まれた日本の周りでも、
凍るのはオホーツク海だけだ。

オホーツク海北部で生まれた氷の結晶は、
輝きながら、連なりながら
だんだんと大きく成長し、南へと移動していく。

流氷が旅の終着点として接岸するまちは、網走。
ここが流氷の南限だ。

流氷に覆われた海は、一面の白い氷野へ。
そして、流氷が去って海明けを迎えると、
せきを切ったように春がやってくる。
なんとこの鮮やかさだろうか。

網走の人々にとって
流氷は、季節であり、いのちであり、
暮らしそのものなのだ。

Drift Ice

Only about 10 percent of the Earth's ocean surface is said to freeze, and of the ocean surrounding Japan, only the Sea of Okhotsk freezes. Ice crystals form in the northern Sea of Okhotsk and grow into masses of ice as they travel southward. Abashiri is the world's southernmost city where drift ice reaches the shore.

CONTENTS

自然とともにある未来へ。……………4

スポーツで、人が輝くまちを。……………6

歴史は、風土に磨かれる。……………8

【健康な市民】……………10

保健・医療／人材育成／健康増進／学力・体力向上／
地域医療／生涯学習／芸術文化／国内・国際交流

【健康な経済】……………14

農業／農産加工／漁業／観光名所／スポーツツーリズム／
食の魅力づくり／重要港湾／まつり

【健康なまち】……………18

特別支援教育・高等教育／子育て支援／
防災・都市基盤／廃棄物処理・再資源化／協働

網走市のあらし……………22

自然と ともにある 未来へ。

朝の太陽がオホーツク海を光で満たすころ、
港では、漁に向かう船がエンジン音を響かせ、
今日の仕事をたくを始めます。

丘の向こうにある畑では、
手早く選り分けられて出荷を待つ、
収穫したての農産物。

網走の人々が季節にとりわけ敏感なのは、
日々鮮やかに移りゆく自然が暮らしの中に溶け込み、
海と大地の恵みがこころにしかない旬のおいしさを
教えてくれるからなのでしょう。

網走の自然のシンボルである流水は、
冬の風物詩としてだけの存在ではありません。
流水が接岸する南限の地で
海の環境の変化を知らせる

高感度なセンサーであると同時に、
オホーツク海に豊富な水産資源をもたらす恵みであり、
変化に富んだ景観やさまざまな農産物を育む
自然のリズムをつくり出しているのです。

自然とともにある暮らしの豊かさを
次世代につないでいくために、
いま私たちができることは、
未来への希望の種をまくことかもしれません。



名勝「天都山」から望む知床連山



天都山地区の桜



国内最大級のサンゴ草群生地



流水と北浜駅



流水原を進む流水観光砕氷船「わーら」



大型機械による大規模農業



ミスバシヨウの群落

Nature

Drift ice isn't just an iconic winter sight in Abashiri. It also serves as a sophisticated sensor that reveals changes occurring in the marine environment and brings a wealth of aquatic resources into the Sea of Okhotsk. Drift ice also creates stunning scenery and is a crucial part of the seasonal rhythm that allows farmers to produce a variety of products.

スポーツで、 人が輝く まちを。

網走では、老若男女を問わず、ウォーキングやジョギングを楽しむ市民の姿を目にします。オリンピックやワールドカップの選手などもそうです。世界の舞台で闘うアスリートたちが、強化トレーニングの合宿地として選ぶ網走には、恵まれた練習環境はもちろん、健やかな体をつくるためのおいしい食や心を癒やす自然環境など、スポーツコンディショニングに最適な環境があります。

網走市は、2020年オリンピック・パラリンピック東京大会のホストタウンとして第1次登録自治体に名を連ね、参加国の選手と地域との交流を広げる役割を担っています。オリンピックやパラリンピアンとのふれあいを通して、各国のさまざまな文化や価値観を学び、日本や網走のすばらしさを再認識する機会になるでしょう。

網走市が進めるスポーツによるまちづくりは、平成29年4月開校の日本体育大学附属高等支援学校の考え方にも表れています。

障がい者スポーツで輝く人材を地域ぐるみで育てることは、心のバリアフリーを実現することにつながります。障がい者や高齢者がのびのびと暮らせるまちは、誰にとっても、安心して暮らせるまちであるはずです。

網走市が見つけているのは、2020年よりも、もっと先の未来。人が健やかに輝くまちを、スポーツで育んでいきます。



ラグビー男子セブンス日本代表



関西実業団連合



タグラグビースクール



バイアスロン日本代表



ホクレンディスタンスチャレンジ網走大会



サッカーU-13エリートプログラム



車いすレーサーチーム



Sports

A popular destination for training camps in rugby, soccer and other sports, Abashiri has hosted numerous world-class athletes. The city has also registered with the government of Japan to serve as a Host Town for the Tokyo 2020 Olympic and Paralympic Games to welcome delegations for pre-Games cultural and sporting events. In the spring of 2017, the High School for Special Needs Education at Nippon Sport Science University was opened for boys with intellectual disabilities. It is Japan's first special needs high school that offers a sports-centered curriculum.

歴史は、 風土に 磨かれる。

網走には「セブンミュージアム」と呼ばれる7つの博物館施設があります。オホーツクや網走を舞台とする作品は数多く、文学や美術などさまざまなジャンルにわたります。昔もいまも、網走の風土はなぜ人々を魅了するのでしょうか。

たとえば、作家・司馬遼太郎は代表作の一つ『街道をゆく オホーツク街道』の中でオホーツク海沿岸で発見された多くの遺跡を訪ね、北方狩猟民族・モヨロ人の源流に思いを馳せています。また、網走市立美術館開館のきっかけとなった網走出身の画家・居串佳一は、オホーツクの風土や人々の生活を叙情的に表した多くの作品を残しました。

流氷が去って海が明け、オホーツクブルーに輝く海。湖や湿地でいのちをつなぐ鳥や草花。秋のサンゴ草、雪原に光る樹氷。そうした自然美と人々の暮らしの風景が相まって網走らしい独特の詩情が醸し出されているのかもしれない。

古くはオホーツク文化の時代から網走刑務所の誕生した明治時代、さらに大正、昭和、平成と時は移つても、変わらないのは、ここ網走に心の居場所を求めて生きる人がいるということ。その歩みを伝えていくのは、いまを生きる私たちの大切な役割です。



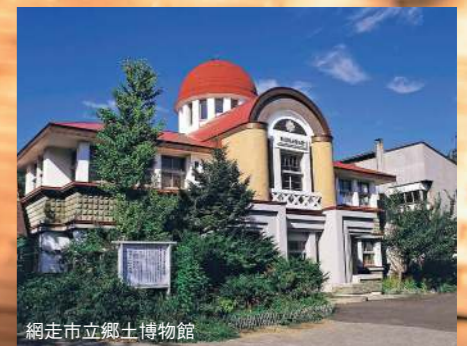
モヨロ貝塚館



北海道立北方民族博物館



濁沸湖水鳥・湿地センター



網走市立郷土博物館



網走市立美術館



オホーツク流水館

博物館 網走監獄

Seven Museums

Abashiri is home to seven museums: the Okhotsk Ryu-hyo Museum, Abashiri Prison Museum, Hokkaido Museum of Northern Peoples, Tofutsu-ko Waterfowl and Wetland Center, Abashiri Kyodo (Hometown) Museum, Abashiri Museum of Art and Moyoro Shell Mound Museum. These museums provide insights into the history and natural environment of Abashiri over the past 1,300 years.

毎日の安心を支える、 健やかな暮らし。

健康をキーワードにまちづくりを進める網走市。
市民の誰もが自分らしく生き、
暮らしの質を高めることができるよう、
健康のために自ら学び参加できる環境づくりを進めています。

健康意識を高める あばしり健康マイレージ 事業

中高年の生活習慣病が社会問題となっている一方で、特定健診（40〜74歳の国民健康保険加入者対象）の受診率は全国的に伸び悩みがち。そこで網走市では、特定健診の受診率の向上に向け、平成28年度から「あばしり健康マイレージ事業」を進めています。



あばしり健康マイレージ事業のポイントカード

これは、40歳以上の市民が特定健診を受診した場合などにポイントを付与し、目標ポイントを達成したら賞品を進呈するしくみ。特定健診だけでなく、人間ドックや無料歯科検診、がん検診、健康講演会、食育イベントなどの対象メニューに参加・受診することでポイントを貯めることができます。

市が健康づくりのために野菜を積極的に取り入れた食生活を提唱する「あばしりベジラブル運動」との連動により、網走産野菜と交換できるしくみを設けるなど、市民が健康に親しみやすい環境づくりを進めています。

身近な 健康づくりのリーダー 「健康コンシェルジュ匠」

網走市が進める健康づくり推進プロジェクト事業の一つに、「健康づくり指導者ライセンス制度」があります。



ライセンス取得講習会

これは、概ね60歳以上の市民が健康づくりに取り組む意欲を高められるよう、これまでに築いてきた知識や技術・技能を生かして、身近な地域での健康づくりのリーダーとして活躍できるシステムを構築しようというものです。

平成24年度から始まったこの制度では、ライセンス取得講習会を実施してスポーツ医学や運動生理学など必要な専門知識を

2 大学と連携した 子どもの学習サポート・ 体力づくりサポート

子どもたちの学力・体力をサポートするため、地域ゆかりの2大学と連携した取り組みを進めています。

その一つが、東京農業大学の学生ボランティアによる土曜日学習サポート活動「あばしり寺子屋」。家庭学習の習慣づけをねらいとして小学校低学年を対象に行われ、大学生が子どもたちに勉強の楽しさを伝えています。

もう一つは、日本体育大学の指導者・学生などによる実演授業。初年度の平成28年度は、運動習慣や基礎体力の向上を目的



学習サポート「寺子屋」

とした特別授業「子ども体力づくりサポート」が行われました。子どもたちの健やかな成長を願い、今後も継続していきます。

さまざまな用途に 活用できる 網走市民健康プール

平成27年にオープンした網走市民健康プールは、水深1・4mの公認競泳プール（25m×15m・7コース）に加え、水深0・8mの児童プール、手すり付きの多目的プール、ジャグジーなどを備えています。プールでは年齢層や目的別に多彩な講座が行われ、多目的ルームではトレーニングやエクササイズも開講。市民による水泳サークルも数多く利用しています。

運動習慣は 生活意欲につながる。 高齢者の元気づくりを 応援します。

やまざき整骨院院長
山崎 順造さん



網走市が全国に先がけて平成16年から取り組んでいる「らくらく健康トレーニング」は、元気な高齢者を対象とした筋力トレーニング教室。6会場で計約400人が参加するほど地域に定着し、私は講師の一人として活動しています。

また、運動機能に不安のある高齢者を対象に、市内の整骨院で行う少人数制の「はつらつ筋力向上トレーニング」もあります。年齢や状態に合った体力づくりの場が身近にあることは、網走ならではの豊かさだと思います。

こうした活動をしていると思うことは、運動経験のない高齢者にどのように運動習慣を持ってもらうかということ。「楽しい」「続けてみよう」という成功体験が、運動だけでなく生活意欲にも影響しやすいからです。

「運動を続けたら階段が昇りやすくなった」など、数値には表れにくい実感によって生活の質を上げていくことが大事。元気でいきいきと暮らす高齢者がもっと増えるよう、私も力を尽くしていきます。

Health Promotion

The City of Abashiri promotes community development with "health" as the key focus. Its initiatives include a health points program to prevent lifestyle-related diseases among middle-aged and senior citizens, a licensing program for health promotion leaders and health promotion courses using the city's public swimming pool. The municipal government also works with the Tokyo University of Agriculture and Nippon Sport Science University to help local children improve their academic ability and build physical strength.

市民の安心を支える 休日医療体制と 電話健康相談

地域医療の充実を目指し、日曜・祝日の内科診療の一部を担当する「網走市休日内科急病センター」を平成28年に開設しました。同センターは、内科の休日当番医となる市内医療機関の負担を軽減しつつ、休日の救急医療体制を整える目的で開設された制度です。

その拠点となる網走厚生病院からは救急外来の設備と看護師などの応援を受け、医師については大学病院に派遣を要請し、同センター開設日に医師が常駐して対応しています。

このほか、24時間年中無休の無料電話健康相談「あばしり健康ダイヤル24」を開設。医師・保健師・看護師などの専門スタッフが相談に対応することにより、市民の健康と安心を支えています。

市民の力でつくり上げる 生涯学習イベント

「あばしりまなび塾フェスティバル」は、生涯学習活動を行う団体が日ごろの学びの成果を市民に披露する、生涯学習の



あばしりまなび塾フェスティバル

祭典。

生涯学習拠点施設であるエコーセンター2000の開館記念日に合わせて毎年11月23日に行われ、20〜30団体が趣向を凝らした学びのプログラムを用意して来館者とふれあいます。



国内外5市と結ぶ 交流と友好の絆

国内外のまちとの交流は、ふるさとに対する愛着を深め、言



ハープ奏者 吉田礎矩果

葉や文化の違いを超えた心の絆を強めてくれます。

昭和61年にカナダのポーツアールバーニ市と姉妹都市提携を締結して以来、これまで主に高校生や市民留学生の交換交流、中学生教育交流訪問団の相互派遣などを中心に交流を深めてきました。平成28年には、提携30周年記念として市民訪問団を派遣しました。

また、平成23年には、クジラ文化を縁として韓国・蔚山広域市南区と友好パートナーシップ協定を締結し、行政・文化・経済などで交流を深めています。

国内では、平成13年に沖縄県糸満市と友好都市提携、平成16年に山形県天童市と観光物産交流都市提携、平成17年に神奈川県厚木市と友好都市提携を結び、それぞれ交流訪問団の派遣・



提携30周年記念にポーツアルバーニ市を訪れた市民訪問団



受け入れなどを通じて人や情報の交流を進めています。

ステージパフォーマンスで 網走の芸術文化を発信

芸術文化を通じてまちに活力とにぎわいを生み出そうと開催しているのが「ふるさとアーティストフェスティバル」です。このイベントは、日本各地で活躍する網走にゆかりのあるアーティストが一堂に集まり、ダンスや音楽など趣向を凝らしたパフォーマンスを繰り広げる芸術祭。市民との交流を深めることにより、網走が優れた芸術文化の専門家たちの活動拠点となるような環境づくりを目指しています。

姉妹都市 30年のあゆみ 1986年~2015年



あばしりまなび塾フェスティバル

心の動く日常があれば、 人はいくつになっても 輝けます。

ワンツースリー
網走市ふまねっと1・2・3
サポーター兼インストラクター
野崎 和子さん



「ふまねっと」は、50cm四方のマス目を踏まないようにゆっくりと歩くことによって、シニアの歩行機能と認知機能の改善を目指す運動のこと。考案者の考え方に共感した私は、ぜひ網走でもふまねっとを広めたいと思い、平成21年から活動してきました。

現在、網走ではさまざまな団体によってふまねっと健康教室が開催され、年間計250回程度の教室にのべ約5000人が参加するまでになりました。

出かける場所があり、人とふれあう場があるのは大切なこと。心の動く日常があれば、人はいくつになっても輝くことができます。受け身ではなく、自ら地域と関わりを持って人とふれあい、みんなが元気になる活動を広げていけたら幸いです。

Opportunities for personal interaction

The City of Abashiri considers it important to provide opportunities for personal interaction. It hosts city-wide events to encourage local residents to engage in lifelong learning activities and organizes an art and cultural festival featuring artists associated with the city. The city also promotes exchanges with a city in Canada, another in South Korea and three cities in Japan.



クリスマスツリー点灯式

恵みを生かす知恵と工夫で、 まちの魅力を最大限に。

未来につなぐ産業があるからこそ、
担い手が生まれ、まちが元気になる。
農業や漁業を土台とした地域の魅力を育て、
経済的に自立した活力あふれるまちを目指します。

小麦をはじめ 道内有数の農産生産地

網走市の農家一戸あたりの平均耕地面積は40ヘクタール以上。市内には約50の営農集団組織があり、大型機械を導入した大規模畑作経営が展開されています。

農産物は、畑作3品（麦、馬鈴薯、てん菜）を中心として、大豆、長いも、ゴボウ、大根などが栽培され、道内有数の農産生産地として知られています。

特に麦は質・量ともに優れ、市内では、うどんの原料として定評のある秋まき小麦「きたほなみ」、パンや麺に適した春まき小麦「春よ恋」、サッポロビールとの契約栽培により道内一の生産量を誇るビール大麦「りょうふう」が栽培されています。

網走産のおいしい小麦を地元で積極的に広めようと、「オホーツク小麦フェスタ」が毎年開催されているほか、平成28年度からは、市内小中学校の給食パンに網走産「春よ恋」を全面使用するなど、地産地消を進めています。



網走市麦類乾燥調製貯蔵施設

25%がオホーツク管内で生産されていることは大きな意味を持ちます。今後も良質な小麦を安定的に出荷し、地域農業の活性化を一層推進していきます。

地場産長いもの 加工や輸出で消費拡大

網走市では、地場産長いもの加工や輸出を通じた消費拡大に取り組んでいます。その一つが、

豊かな漁場と資源を守る 持続可能な漁業生産

網走には、オホーツク海を漁場とする海面漁業と、4つの湖で行われる内水面漁業があり、



ホタテの水揚げ

豊かな漁場と多種多様な漁業資源に恵まれています。この豊かな漁業資源を、いかに安定的に持続し利用していくかが課題となっています。

そのため、さらなる資源管理型漁業やつくり育てる漁業の推進とともに、それらの基礎とな



サケの水揚げ

る漁場環境の保全に取り組んでいます。

海面漁業では、サケ、オホーツクサーモンの資源安定化に向けた調査、ウニやナマコなどの沿岸浅海資源のための漁場造成、そして、つくり育てる漁業ではナマコの種苗生産など、新たな取り組みを進めています。

漁場環境の保全については、網走川流域の農業者と漁業者による河川環境保全に関する共同宣言の締結のほか、環境に配慮した農業を漁業者が応援し「応援証」を発行するなどの取り組みを進めています。

天都山の頂上で 流水体験と絶景を楽しむ

名勝・天都山にある「オホーツク流水館」は、流水とオホー



ツク海の生き物をテーマとした観光施設。北海道最大級の常設プロジェクトマップピングが楽しめるほか、300インチの5面スクリーンを備えた流水幻想シアターが、壮大な自然を映し出します。流水の天使クリオネを間近で見ることができ、



オホーツク流水館

マイナス15度の流水体感室では、本物の流水100トンを表示しています。

標高207mの天都山の頂上からの眺望は、その名の通り「天の都」に似ているような美しさ。展望台では、一面に広がるオホーツク海、網走湖、能取湖、濤沸湖、藻琴湖、知床連山を見渡すことができ、観光客はもちろん市民の憩いの場としても親しまれています。

このまち、 この場所の価値を生かし、 網走の魅力を 伝えていきたい。

株式会社 MID VILLAGE
代表取締役

中村 守宏さん



東京出身ですが、縁あって東京農大オホーツクキャンパスで学生時代を過ごしました。自然の魅力に引かれつつも、若者としてはどこか物足りなさを感じていた大学4年のときに、「遊び場所を自分でつくりたい」とカフェをオープン。失敗も重ねながら10年たった現在は、カフェやカレー専門店など市内と東京で6店舗を運営しています。

中でも「cafe & restaurant 360 (サンクゼロ)」は、市の施設として多くのお客様が訪れるオホーツク流水館内にあり、責任とやりがいを感じています。「このまち、この場所じゃなければできない店づくり」をコンセプトに、オホーツク海を一望する抜群のロケーションの中で網走やオホーツクの食の魅力を楽しんでいただいています。お客様目線を第一にする以上、現状に満足することはありません。

目指すのは「店づくりを通じたまちづくり」。網走の魅力をより多くの人たちに伝えるには、地域に根ざしつつ世界に通用する店づくりをすることが大切だと考えています。東京農大OBとしても、情熱のある後輩たちを卒業後に仲間として受け入れ、地域をリードする人材になるよう応援していきたいと思っています。

Agriculture and Fisheries

Farmers in Abashiri are mostly engaged in large-scale upland farming using large machinery. In particular, the city is known as a major wheat production area in Hokkaido that produces large quantities of high-quality wheat. Fisheries in the city are divided into marine fisheries based in the Sea of Okhotsk and inland fisheries in four lakes. The city is blessed with fertile fishing grounds and a variety of fishery resources.

天都山展望台からの風景

恵みを生かす知恵と工夫で、まちの魅力を最大限に。

大勢の市民がおもてなし オホーツク網走マラソン

「オホーツク網走マラソン」は、変化に富んだ景観と網走の食をたっぷり楽しめるご当地マラソン。初回の平成27年から2年連続で「全国ランニング大会100撰」に選ばれていま



写真提供 フォトス



オホーツク網走マラソン

フルマラソンは、網走刑務所正門前をスタートし、オホーツク海に突き出た能取岬をめぐり、最後はひまわり満開の大曲湖畔園地でフィニッシュするコース。海岸線では、オホーツクブルーに輝く海と、それに連なる知床連山の風景を眺めながら走るができます。

自慢の食でランナーをおもてなし。東京農業大学の学生も給水とスポンジ地点でサポートし、熱い声援を送ります。完走者に授与される、網走刑務所の焼き印が入った大会オリジナルメダルも人気。

ゴールでは収穫祭も開かれるなど、総勢1200人以上の市民ボランティアが心づくしのおもてなしで大会を支えています。

食と観光のブランド力 おいしいまち網走

網走には、シジミ、カニ、釣きんぎ、地ビールなど、水産物や農産物をはじめとする一級品の食材があります。そうした食材を生かして地域の魅力を磨くことは、経済・産業や観光面でも付加価値を高めることにつながります。

近年では、網走特産の西洋わさびを使った「ガツンと辛い山



オホーツク網走サマーイルミネーション

わさび粕漬け」が、漬物日本一を決める「T-1グランプリ2011」法人部門で優勝。また、網走市と長崎県雲仙市とのコラボから生まれたご当地グルメ「網走ちゃんぽん」などが話題を集めています。



網走港に寄港したクルーズ船「飛鳥II」

ダイヤモンド プリンセス号が 寄港するまち

重要港湾の網走港は、おもに小麦や石炭などを取り扱う北地域域の物流の拠点であり、サケ・ホタテをはじめとする沿岸水産品の水揚げ港。



ダイヤモンドプリンセス



網走市小麦集出荷施設

特に第4埠頭は延長が約420mあり、3万トンクラスの大規模客船のほかクルーズ客船も入港できます。これ

ン）、にっぽん丸（約2万トン）、ぱしふいっくびいなす（約2万6000トン）、サンプリンセス（約7万トン）、ダイヤモンドプリンセス（約11万5000トン）の入港実績があります。

クルーズ船に対応する全国の港のうち、ダイヤモンドプリンセス級の客船が寄港できるのは約30港。その一つとして、網走港はオホーツク観光の重要な役割を担っています。

また、平成26年には1万8000トンの保管能力を持つ小麦集出荷施設が整備され、オホーツク地域で生産された小麦の約8割が網走港に集約できるようになりました。良質なオホーツク産小麦は、ここから全国へ出荷されています。

オホーツクを 代表するまつり

網走ではさまざまなイベントが繰り広げられ、四季を通じてまちの魅力を楽しむことができます。

オホーツクを代表するまつりの一つが、2月上旬の「あばしりオホーツク流水まつり」。迫力満点の大雪像やライトアップされた氷像が人々を魅了しま



花火大会



オホーツク網走サマーイルミネーション

す。

また、7月下旬に行われる「あばしりオホーツク夏まつり」は、網走の短い夏を象徴するイベント。オホーツク海に大輪の花を咲かせる「花火大会」は圧巻で、まち全体が熱気に包まれます。

さらに、夏の夜の網走川河川敷を無数のLEDで彩る「オホーツク網走サマーイルミネーション」が人気を集めています。

自ら働きかけ、 もっと網走を楽しく。 女の子目線で取り組む まちづくり活動。

Forever 網走 事務局長 石栗 嘉さん



「Forever 網走」は、網走にゆかりのある18～30歳の女性が集まるまちづくりグループ。生まれ育った網走の良さに気づいてUターンした私と幼なじみが、2014年に会を発足。若い女の子が網走に住んで良かったと思えるように、私たちらしい目線と行動力で活動しています。

当初は、メンバーを募るためにブライダルショーのモデル体験を企画。でも、単なる仲良しグループでは長続きしないと考え、網走青年団体連合会にお願いして仲間に入れてもらい、地域のまつりなどのお手伝いをするようになりました。

これまでには、「オホーツク網走サマーイルミネーション」実行委員会としての活動のほか、勉強会を兼ねたカニ料理教室、網走湖畔でのランチ付きヨガレッスンなどを実施。地域に関心を持ってさまざまな人々と接することで、人前で話をするのが上手になったり、選挙に行くようになったりなど、メンバーにも変化が表れています。自ら働きかければ、まちを良くしていくことができる。そんな楽しさを感じています。

Tourism

In addition to the fine food from the sea and land, Abashiri is rich in natural beauty, history and culture as well as other tourist resources that stimulate the five senses. Encapsulating all those resources into the slogan "DeliciousCity, Abashiri", the municipal government has endeavoured to enhance its role as a tourist destination. Designated as a major port in Japan, the Port of Abashiri hosts cruise ships including the luxury Diamond Princess cruise liner.

あばしりオホーツク流水まつり

明日への願いを集め、 確かな地域力を。

網走をフィールドに夢を実現しようとする
多くの皆さんの期待に応えるために、
過ごしやすく快適な生活環境を整え、
誰もが安心して暮らせるまちを実現していきます。

スポーツ教育が特色 日体大附属高等支援学校

平成29年4月開校の日本体育
大学附属高等支援学校は、中学
卒業後の知的障がいのある男子
を対象とした、国内で初めてと
なるスポーツ教育に重点を置い
た全寮制の支援学校です。ス



日本体育大学附属高等支援学校

スポーツ基本法施行などを背景と
して障がい者スポーツ教育に取
り組もうとしていた日本体育大
学が、網走市の誘致要請に応え、
同校の設置が実現しました。
同校は、約5000㎡のグ
ラウンドのほか、トレーニング
機器をそろえた2棟の体育館な
ど設備も充実。校舎裏にはビ
ニールハウス栽培も体験できる
園地や、美術室、音楽室など
が用意されているほか、平成
29年秋には、日本最長となる
150メートルの屋内直線走
路も整備されます。

また、校舎に隣接する寄宿舎
では、生徒たちは共同生活を通
じてコミュニケーション能力を
養い、社会参加のための基礎を
身につけていきます。

網走市では、同校の教育環境
づくりを全面的にバックアッ
プ。トップアスリートが練習で
利用する網走スポーツ・トレ
ニングフィールドのほか、周辺
のスポーツ施設、自然公園など

を教育活動の場として開放し、
網走市のすべてが学びのフィ
ールドとなるよう支援していま
す。

東京農大と連携 首都圏から インターンシップ

人口減少社会における地域の
持続的発展を目指し、網走市で
は、東京農業大学オホーツク
キャンパス、オホーツク網走農
協、女満別町農協、大空町と
もにインターンシップ事業に取
り組んでいます。

これは、地元の大学である東
京農業大学の首都圏キャンパス
に在籍する学生をインターン
シップとして招くことにより、
学生の就労体験の機会を設ける
とともに、地域の将来の人材確
保につながるしくみづくりを目
的とするものです。

平成28年度は、世田谷キャン
パスと厚木キャンパスから男女



網走市の牧場で研修をするインターンシップ生たち

学生10人がインターンシップに
参加。網走市・大空町の酪農家
と畑作農家が受け入れを行い、
8泊9日の農業実地研修を行
いました。
参加学生は皆、首都圏では体
験できない農業の現場に接し、
オホーツクの魅力とともに将来
の農業への夢を心に刻んだよう
です。

不安と悩みに寄り添う 親身な子育て環境

子どもの健やかな成長を願う
気持ちは誰もが同じ。網走市で
は、親子のつながり、地域と
のつながりなど、つながりを
大切にした子育て支援を進めて
います。

その拠点となるのが、地域子
育て支援センター「どんぐり」



網走市地域子育て支援センター「どんぐり」

と「ひまわり」。育児相談や親
子イベント、子育て情報の提供
など、乳幼児を持つお父さん、
お母さんが笑顔で過ごせる場と
して親しまれています。
また、網走市子育てサポート
センターは、小学生までの子ど
もを持つ家庭を地域で支える会
員組織。子育ての援助を受けた
い人（依頼会員）と援助を行
いたい人（協力会員）が会員とし
て登録し、地域のつながり
の中で子育てを支える共助のし
くみを築いています。

子育てに不安や悩みはつきも
のです。心身に障がいのある子
どもや発達に心配のある子ども
に対して適切な支援を行い、そ
の家族に専門的なアドバイスを
するのが、こども発達支援セン
ター「ふわり」。個別・集団指
導などで、心身の発達に関する

さまざまな相談に応じていま
す。

このほか網走市では、中学
生までの医療費助成制度や、
VPD（ワクチンで予防できる
疾病）ゼロ運動など、健康な
まちにふさわしい充実した医
療制度で子どもの健康を支えて
います。



赤ちゃんふれあい体験教室



子育て講演会



消防体験

自然豊かな 地の利を生かし、 人間性を育てる教育活動を。

日本体育大学附属高等支援学校
校長

島崎 洋二さん



本校は、「スポーツ教育」「労作教育」
「情操教育」の3つを教育の柱とし、さ
まざまな教育活動や寄宿舎生活を通して自己
実現や自立のできる生徒を育成します。

日本体育大学が得意とするスポーツ教育
を中心に教育活動を進めていますが、決して
トップアスリート養成に特化した学校では
ありません。スポーツや農業、芸術活動など
幅広い活動を通してバランスの取れた人間
形成を目指します。そのため、スポーツ
に興味・関心のある生徒も歓迎します。

スポーツ以外にも多彩な活動があり、農
業実習地ではジャガイモやトモロコシ、小
麦などを栽培。育てた作物でパンやピザを
作って仲間と味わい、多くの人に提供して
喜んでもらうこともできます。あるいは、絵
画や音楽、工芸活動を通して豊かな感受
性を培うなどの時間も、貴重な体験となる
ことでしょう。

こうした教育活動を通して、一人ひとりが
夢になるものを見つけ、やがてそれが得
意なこと、自慢できることになってくれること
を期待しています。

網走の雄大な自然や食の恵み、人々の
温かさが、生徒の“夢の実現”を優しく支
えてくれることに感謝しています。

Education

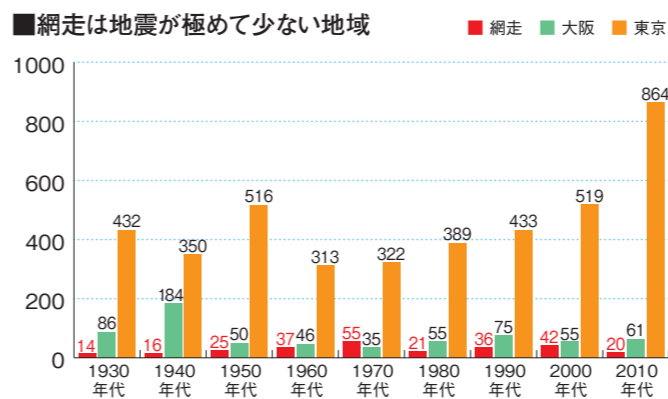
The Tokyo University of Agriculture's
Okhotsk Campus, established in 1989,
and the High School for Special Needs
Education at Nippon Sport Science
University, which opened in the spring
of 2017, provide programs rooted in the
local environment in order to develop
future generations of leaders who will
shape the future of the city.

市民手づくりのフラワーガーデン「はなてんと」

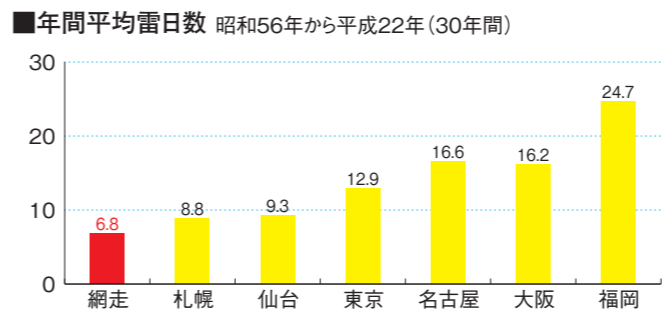
東京農業大学オホーツクキャンパス

長期滞在にも安心 災害の少ない網走

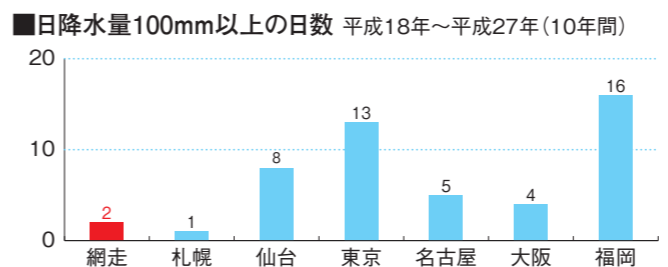
網走は、地震や台風など自然災害の発生が少なく、一年を通して晴天が多いうえ降水量・降雪量も少ないなど、住みやすさと過ごしやすさを備えています。



地震の発生回数では、2010年代が14回と東京の約60分の1で、雷の発生日数も、年平均6.8日で福岡の4分の1弱と、自然災害リスクの低い恵まれた地域といえます。



また、「地域防災計画」に基づく災害に強い防災体制づくりを進めるとともに、防災備蓄品や冬季停電対策用備品の整備、洪水・土砂災害、津波災害への



ザードマップ作成等にも取り組んでいます。さらに、地域防災力の向上を目指し、町内会を中心とした自主防災組織づくりや防災訓練の実施などに取り組んでいます。



少雨で晴天の多い気候を生かしたメガソーラー発電施設

将来に備えた ごみ減量化のしくみ

網走市では「ごみダイエット
のやさしいまち あばしり」を



網走市破砕・リサイクル施設

スローガンとする一般廃棄物処理基本計画を策定し、循環型社会の実現に向けたごみ処理を進めています。

この計画では、3つの基本方針として「一人ひとりがごみの量を減らしていこう!」「再利用・再生利用は、分別から!」「環境にやさしいごみ処理を!」を掲げ、市民・事業者・市の協働による取り組みによって循環型社会の実現を目指しています。また、かねてから建設を進めていた破砕・リサイクル施設と生ごみたい肥化施設が、平成29年度から供用を開始。これに伴い、新分別方式によるごみ回収で資源リサイクルをより一層進め、埋立量を減らしていきます。

暮らしの身近な声を まちづくりに生かす

網走市では、協働のまちづくりを市政の基本に掲げ、市長自らが市民との対話の場づくりに努めています。

その一つ「みんなの市長室」は、市長室を年4回開放し、市民が考えるまちづくりについて市長が直接話し合う場です。中学生以上の市民がグループ単位で参加し、市長と積極的に対話しています。

また、市民とまちづくりについて意見交換を行う網走市推進住民会議は、テーマを設けて各地区で開催する「まちづくりふれあい懇談会」と、市政の執行方針などを説明する「全体会



まちづくりふれあい懇談会

議」の2段階方式で開催しています。

こうした多くの市民の声が生かされた政策展開に生かされ、対話を通じてまちづくりの原動力となっています。

日本一の芝を ベストの状態に 使っていただくために。

網走地方芝生販売協同組合
グラウンドキーパー

佐藤 伸之さん



網走スポーツ・トレーニングフィールドのグラウンドキーパーを約18年担当しています。この施設は、合宿で網走を訪れるラグビートップリーグやJリーグのチームが利用する天然芝フィールドを備えており、私が担当する以前から「日本一の芝」と一流選手からも高く評価されています。それだけに、長年の信用を落とすわけにはいかないと、万全の構えで管理に当たっています。

いい芝の条件は、密度が均一で、雑草の混入が少なく、適度な柔らかさを保っていること。硬いとけがの原因になりかねません。ラグビー用の芝は長さ3cmで設定し、走りやすく、スクラム時にスパイクが絡む程度の長さをキープ。練習後に芝がめくれていたらすぐに直し、常にベストの状態を使ってもらえるようにしています。

天候や時間帯、季節によって芝のメンテナンス方法は毎日変わりますが、目指す水準はいつも同じ。「網走の芝は良くて当たり前」という評価を維持することは、やりがいであり、誇りだと思っています。

Disaster Prevention

Abashiri has a temperate climate with many sunny days throughout the year and little annual rainfall or other precipitation. It is a safe city with a low risk of natural disaster and where earthquakes are a rarity. Locals are working to make their communities more resilient to disasters through initiatives including the establishment of voluntary disaster prevention organizations consisting chiefly of neighborhood associations.



網走のすばらしい価値と魅力を 未来に引き継いでいくために



網走市長
水谷 洋一

日本はいま、時代の大きなうねりの中にあります。経済・社会構造の変化に伴い、地方都市はさまざまな課題に直面していますが、だからこそ、網走は光り輝くまちでありたい、と願っています。

網走の魅力は、綺羅星のように輝く「本物」が一つのまちに揃っていること。流水をはじめとする豊かな自然環境、海や大地がもたらす食の恵み、一流選手が集うスポーツ合宿地としての環境など、まちの風土や文化が本物の価値を携えているからこそ、人々は網走に大きな魅力を感じるのだと思います。そうした魅力を子どもたちに伝え、未来に引き継いでいくのは、いまを生きるわたしたちの務めです。ここに住むわたしたち一人一人が網走のすばらしさを愛し、その価値や魅力を発信していくことが大切です。

網走市は「健康」をキーワードにしたまちづくりに取り組んでいます。が、まちが健康であるために欠かせないのは「ふれあい」です。手と手をすり合わせると温もりが生まれるように、人と人がふれあい、心を寄せ合って交流することによって、まちの活気を高めていくことができます。

網走のすばらしい価値と魅力を未来につないでいくために、網走を応援してください。多くの皆さんと一緒に守り育てていきたいと考えています。

網走市民憲章 (昭和47年7月17日制定)

わたしたちは、母なるオホーツクの海に抱かれ、湖と森の美しい自然にかこまれた網走の市民です。

わたしたちには、遠いむかしから風雪にたえぬいて、この地を切り拓いてきた、たくましい先人の心がうけつがれています。

わたしたちは、このまちの市民であることに、かぎりない喜びと誇りを持ち、のびゆく網走の良い市民となる願いをこめて、ここに市民憲章を定めます。

1. うみやまの深いみどりをいつまでも美しく、心豊かなまちをつくりましょう。
1. うけついだ文化にまなび、世界の人々と手をつなぎ、新しいオホーツク文化のまちをつくりましょう。
1. たがいにまごころをもってつきあい、老人を大切にし、子どもの夢をそだてるしあわせなまちをつくりましょう。
1. 元気で仕事にはげみ、いきがいのあるまちをつくりましょう。
1. みんなが力をあわせ、人のいのちをだいじにする、明るく住みよいまちをつくりましょう。

網走市のあらまし

網走市紋章



(昭和15年3月22日制定)

「ア」「走」の文字を共通に図案化し、全体を錨の形にして海港網走を表示したものです。

市名の由来

「網走」という地名の由来には諸説がありますが、一般的には「ア・バ・シリ」(我らが見つけた土地)、「アバ・シリ」(入り口の地)、「チバ・シリ」(釐場のある島)などのアイヌ語に漢字をあてたものとされています。

市の木



かつら (昭和47年8月12日制定)

市制施行25周年、開基100年を記念して、自然環境の保護、育成をはかるため、公募をもとに選定されました。木肌が荒々しく健康そうで、葉は小型で丸く、円満さを示しています。桂材はオホーツクの鮭の色のよさを感じさせます。

位置と面積

位置：東経144度14分
北緯44度02分
面積：471.00km²
周囲：151.092m

人口・世帯数

(平成28年12月末住民基本台帳)
人口：36,907人
男：18,091人
女：18,816人
18,466世帯

市の花



えぞむらさきつつじ

(昭和52年10月2日制定)

市制施行30周年を記念して、心豊かなまちをつくるため、公募をもとに選定されました。日本では北海道にしかなく、桜に先がけて色あざやかな花を咲かせます。



The Mayor's Commitment

Abashiri is a city facing the Sea of Okhotsk with a population of some 36,000. Mayor Yoichi Mizutani has promoted community development with three goals: healthy citizens, a healthy economy and healthy communities. He believes that the interaction of citizens is essential for healthy communities. He is committed to infusing vitality into communities through the promotion of personal interaction and exchanges.